

# 令和5年度 湖西市文化財保護審議会

## － 会議録 －

日 時 令和6年1月16日(火) 13時00分～14時35分  
会 場 湖西市役所2階 市長公室

### ○出席者

委員	◎渡邊 和敏	
	○牧野 茂	
	平野 克典	
	後藤 建一	
	片山 愛司	
	小林 浩二	
事務局	渡辺 宜宏	湖西市教育長
	太田 英明	湖西市産業部長
	白井 保司	湖西市文化観光課長
	鈴木 紀子	湖西市文化観光課 係長
	岡本 聡	湖西市文化観光課 主任
	大須賀 広夢	湖西市文化観光課 副主任

◎：会長 ○：副会長 傍聴人：0名

### 1 開会

### 2 諮問

会長：発掘報告書を作った方がよい。

事務局：作成します。

会長：古墳時代とはいわないか？

委員：古墳時代の末期が飛鳥時代。飛鳥時代で支障ない。

委員：文化財が市民に浸透していない。お金や人手をかけ、文化意識を高めてほしい。

委員：文化財だよりなどを発行して、啓発したい。

委員：写真に年代を入れてほしい。発掘当時の写真の石室は神座と似ている。

雑草は強めの管理をした方が、石室が崩れないと思う。除草剤を撒いても問題ない。

委員：運動公園管理事務所にパネルや出土遺物を置けないか。また場所が分かりにくいので下の道路（県道3号）から見える看板があるとよい。

委員：当時はこのあたりが湖西の中核であった。古代東海道もこのあたりだったかもしれない。

委員：窯の生産に関わった首長とのことあるが、窯とセットで指定できないか。

委員：湖西は窯が有名なので、1つでも残した方がよい。

会長：湖西市で窯がないのは気になっていた。豊橋ののんほいパークは埋めた状態で窯を公開している。窯の指定はどうか。

事務局：一去年、現地確認を行った岡崎中学校の窯が候補である。市の所有。

委員：以前、文化庁調査官の現地指導を受けた際には、単体ではなく、古窯跡群として指定するように指導があった。一度、市指定をしてしまうと、なかなか国指定に動かない。国指定を目指したい。

委員：多くの窯が消滅しているので、残してほしい。

指定したのちの、文化財に対する保存方法を考えてほしい。保全するにはお金と人が必要である。

また市民の文化意識を高めるために、HPに載せるなど関心を高める情報発信をしてほしい。

産業部長：お金や人はすぐには手当できないが、情報発信などできることから行っていく。

委員：知波田小学校ではふるさと学習といって、文化財の体験学習を行っている。こうした地道な努力も知してほしい。

会長：答申については、指定としてまとめる。

### 3 報告

#### (1) 令和5年度文化財関係事業報告/ (2) 指定文化財の現状報告

会長：坊中I遺跡はどのような遺跡か？関所役人の北屋敷は残っているのか。

事務局：試掘調査では、室町時代の貝塚、や奈良時代の須恵器がでた。北屋敷の遺構は見られなかった。角江遺跡は古墳がある可能性があるなので試掘を行う。

会長：角江遺跡のあたりは、古代の東海道にかかるかと思う。

委員：松枯れ被害が大きいですが、西部農林事務所から森づくり税を使用して、松並木の保存ができると聞いた。森づくり担当課からも松並木の保存をアプローチしてほしい。

委員：森林譲与税を使うのは賛成。空中散布が効果的。専門家と相談して進めてほしい。

産業部長：森林譲与税を使用して伐採を行う。

会長：江戸時代には松枯れはないが、なぜ近年こんなに広がったのか。

委員：明治期のアメリカからの輸入材に虫がいて広まった。

#### (2) 令和6年度文化財関係事業計画案

委員：地域計画を策定しないと補助金がもらえなくなるのか。

事務局：優先採択に影響があったり、地域計画があることで使用できるメニューがある。

委員：結局、補助金が大きな事業に使われ、小さい地区や事業が負担が大きくなる。地域計画は、押し付けではなく、地域と話しあってほしい。

委員：文化財だよりのようなものを発行やネット配信して、文化財啓発をしたい。

事務局：広報に隔月で委員に1回執筆してもらいたい。

委員：地域計画のサポートになると思う。

委員：編集会議のようなものを行ってほしい。

事務局：執筆順序など構想を練って依頼する。

委員：佐吉や窯跡など、ウォーキングでは周りきれないので、バスなどでツアーを組み観光的に呼び込んだらどうか。

課長：来年度花博ツアーがあり、中根金作の庭の周遊ツアーを考えている。

### 4 閉会

(以上)